

寒冷地形談話会通信

2003年度4号 [2003年11月29日発行]

<http://www.geo.ees.hokudai.ac.jp/kanreichikei/>

- ◆寒冷地形談話会通信第4号をお届けいたします。
- ◆本号は、「30周年記念行事プログラム」と「2月例会での発表者募集案内」に関するお知らせが中心となっています。
- ◆12月13日(土) 明治大学において開催される“寒冷地形談話会30周年記念行事”のプログラムが完成いたしました。詳しくは【30周年記念行事プログラム】をご参照下さい。
- ◆当会は、2月例会において卒業論文および修士論文の発表者を募集しております。詳しくは【卒論・修論・博論発表者募集案内】をご参照下さい。

編集：小松哲也・黒田真二郎

事務局：黒田真二郎・小松哲也・縫村崇行(都立大)、佐藤剛(千葉大)、澤田結基・橘美由紀・松岡直子(北海道大)、池田敦・阿部正洋(筑波大)、天井澤暁裕・近藤玲介・溝邊貴彦(明治大)、福井幸太郎(国立極地研究所)

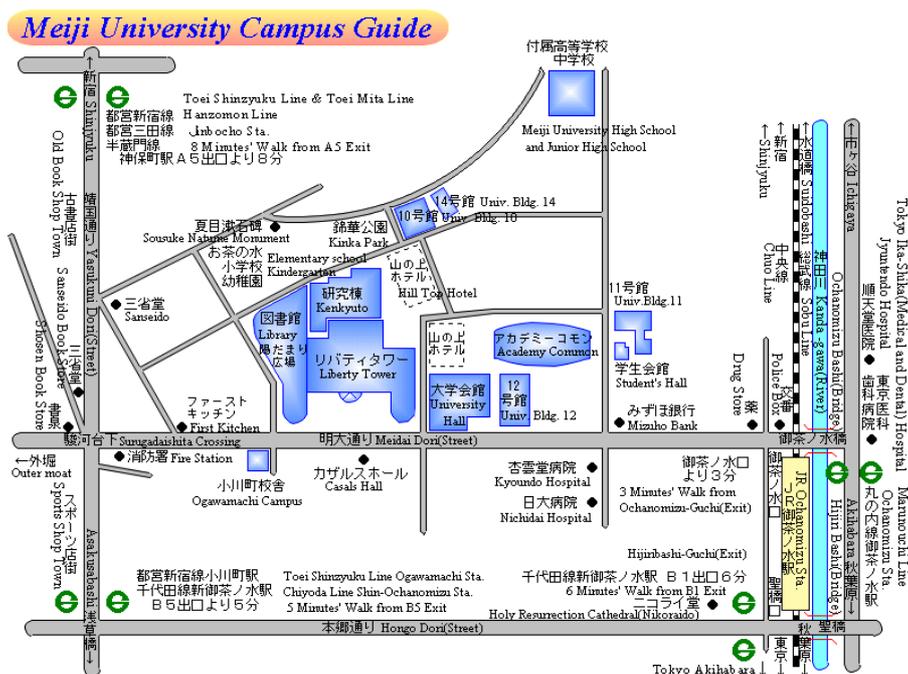
連絡先：〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 東京都立大学大学院理学研究科地理学教室 寒冷地形談話会 代表 黒田真二郎
kanrei-jimukyoku@egroups.co.jp (事務局宛) Tel(代) 0426-77-1111 (内)3835 FAX 0426-77-2589 (地理学科事務室)
会費振込：郵便振替 東京 00100-9-171342 寒冷地形談話会

【30周年記念行事プログラム】

12月13日(土) 明治大学において開催される“寒冷地形談話会30周年記念行事”のプログラムが完成いたしました。詳しくは下記の項目をご覧ください。なお、この“記念行事”では、「会の発足当時の雰囲気や目的」、「研究最前線の話題」、「今後の研究展望、若手への希望・期待」などを研究者の方々に語っていただきます。また、例年この時期におこなわれている12月例会を合同開催としたポスターセッションもおこなわれます。皆様、お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。

◆会場までのアクセス

会場は明治大学駿河台キャンパス内のリバティタワー11階1116号室になります。なお、最寄り駅であるJR御茶ノ水駅から明治大学までは右記の地図をご参照下さい。



(引用元 URL: <http://www.meiji.ac.jp/campus/suruga.html>)

【30周年記念行事プログラム】

日時:12月13日(土)

会場:明治大学駿河台キャンパス, リバティータワー11階 1116号室(JR 御茶ノ水駅より徒歩8分)

12:30 - 12:35 あいさつ 総合司会: 目代邦康 (筑波大学陸域環境研究センター)

12:35 - 14:45 基調講演「寒冷地形談話会 30年の軌跡と未来への展望」(11F1116号室)

12:35 - 13:15 「寒冷地形談話会と山の研究」

小疇 尚 (明治大学)

13:15 - 13:55 「寒冷地形談話会発足の頃」

小泉武栄 (東京学芸大学)

13:55 - 14:05 休憩

14:05 - 14:45 「氷河研究の醍醐味」

白岩孝行 (北海道大学低温科学研究所)

14:45 - 16:00 ポスターセッション (11F1115号室)

- ・「飛騨山脈槍穂高連峰の岩石氷河における2000-2003年の地温状況」
青山雅史 (東京都立大学)
- ・「未定 (永久凍土関係)」
石川守 (地球観測フロンティア)
- ・「ブータンヒマラヤ, チョブダ氷河の縮小と氷河湖拡大」
小森次郎, デオ・ラジ・グルン, 岩田修二 (東京都立大学), 矢吹裕伯 (地球観測フロンティア)
- ・「東北日本の偽高山帯における更新世末期以降の地表環境変遷史」
佐々木明彦 (東北大学)
- ・「中央アジアにおける最終氷期の岩屑被覆氷河の存在」
奈良間千之 (東京都立大学)
- ・「ロシア・アルタイ山脈南チュイスキー山地の岩石氷河」
福井幸太郎 (国立極地研究所)
- ・「浮流土砂・溶存化学特性から推定したカムチャツカ半島カレイタ氷河における流出システムの構造変化」
松元高峰 (北海道大学陸水循環物理学教室)

16:00 - 17:30 パネルディスカッション「寒冷地域の研究の展望 - その指針 -」(11F1116号室)

司会者: 小野有五 (北海道大学地球環境科学研究科)

パネリスト

- ・荻谷愛彦 (千葉大学)
- ・高橋伸幸 (北海学園大学)
- ・長谷川裕彦 (明治大学)
- ・福井幸太郎 (国立極地研究所)
- ・松元高峰 (北海道大学陸水循環物理学教室)

パネリスト発表タイトル

- 「雪山の自然: 現在・過去・未来」
- 「高山地域とのつきあいかた」
- 「日本の氷河作用研究」
- 「火星の岩石氷河とアイスウェッジポリゴン」
- 「氷河研究における雪氷学と地形学 - トモダチ以上コイビト未満? -」

17:30 - 17:35 閉会の辞

18:00 - 懇親会 (アミにて)

◆30周年記念行事プログラム案内

◇基調講演

【会場】リバティータワー（11F1116 号室）

基調講演では、「寒冷地形談話会 30 年の軌跡と未来への展望 - 若手研究者へのメッセージ - 」というテーマのもと講演者の皆様にお話をさせていただきます。小疇尚氏、小泉武栄氏には、会の発足当時の雰囲気や目的、現在までに至る自身の研究への姿勢、寒冷地域の自然研究の今後を担う若手研究者や学生に望むことを中心に、白岩孝行氏には、研究最前線の話題、現在までに至る自身の研究への姿勢、研究テーマとの出会いを中心にお話をさせていただきます。※当初、予定されておりました松岡憲知氏の講演は、都合によりキャンセルとなりました。ご了承下さい。

◇ポスターセッション

【会場】リバティータワー（11F1115 号室）

ポスターセッションでは、若手研究者による研究発表を行っており、研究最前線のホットな話題に触れることが出来ます。なお、ポスターの展示は 11:00 からとなっておりますので、本会が始ま

る前にご覧いただけます。

◇パネルディスカッション

【会場】リバティータワー（11F1116 号室）

パネルディスカッションでは、「今後の寒冷地域の研究における方向性」というテーマのもと、氷河地形、多雪山地、山岳永久凍土、地生態学、雪氷学に造詣の深いパネリストの皆様にご議論をさせていただきます。また、このパネルディスカッションは、会場にご参加の皆様も交えて活発な意見交換をおこなうことも念頭においております。日頃から気になっていた点、疑問点等ございましたら、この機会に投げかけていただければと思います。

◇懇親会

【会場】居酒屋「アミ」

世代・学際を超えた活発な交流によって会が発展することを期待して、「30 周年記念行事」後に懇親会を設けます。皆様、是非ご参加下さい。なお、会場の予約の都合上、懇親会への参加を希望されている方は事務局までご連絡下さい。

(kanrei-jimukyoku@egroups.co.jp)

【卒論・修論・博論発表者募集案内】

当会は 2004 年 2 月 14 日(土)に極地研究所にて寒冷地形談話会 2 月例会を行ないます。この 2 月例会では毎年、その年度に提出された卒論・修論・博論の発表を行っております。そこで、今年度も卒論・修論・博論の発表者を募集いたします。会員のみならずお近くに該当する学生などがおりましたら、「発表してみてもどうか？」と一声かけていただけると幸いです。なお、発表を希望する方は事務局まで下記募集要項を参照の上でご連絡下さい。多くの方々の発表をお待ちしております。

◆募集要項

資格：2003 年度卒業論文・修士論文・博士論文提出予定者.

形式：パワーポインターおよび OHP による発表.

※なお，原則的に PC は各自持ち込みです.

内容：山地や高緯度地域を対象とした研究. (地形・地質学に限らなくても大歓迎です.)

申し込み方法：1) 氏名 (漢字・フリガナ)，2) 住所，3) 電話番号，4) メールアドレス，5) 所属，6) 研究発表の題目とその簡単な説明 (100 字程度)，7) 発表形式を記入したものを，電子メール・FAX・はがきのいずれかで下記あて先までお送り下さい.

寒冷地形談話会事務局

メールアドレス：kanrei-jimukyoku@egroups.co.jp

住所：〒192 - 0397 東京都八王子市南大沢 1-1 東京都立大学大学院理学研究科地理学研究室 727 小松哲也

Fax：0426 - 77 - 2589

申し込み期限：2003 年 1 月 20 日 (火) 午後 5 時必着

*なお，「募集要項」の中でご不明な点，お尋ねしたい点などがありましたら寒冷地形談話会事務局 (kanrei-jimukyoku@egroups.co.jp，0426-77-1111 内線 3835；担当. 黒田・小松) までご連絡下さい.

【新会員募集中!!】

当会は随時，新会員を募集しております. 新規加入希望者は，1) 氏名 (漢字・フリガナ) 2) 住所 3) 電話番号 4) FAX 5) メールアドレス 6) 所属，を記入した電子メールを下記の事務局アドレスまでお送り下さい. なお，学部生以下の会員年会費 (メール会員) は無料となっています. kanrei-jimukyoku@egroups.co.jp